教科目名　世界史（History of World）

**学科名・学年**　：全学科　２年
**単位数など**　：必履修　２単位（前期１コマ，後期１コマ，学習保証時間 45 時間）
**担当教員**　：中川祐志，播磨陽子

**授業の概要**

世界の諸地域の古代から現代へ至る歴史を学び,時間軸に即して地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付けることができるように授業を展開する.

**達成目標と評価方法**　　**大分高専目標(A1)，JABEE 目標(a)**

(1) 現代を過去とのつながりを通じて考えることができる.（定期試験）
(2) 広く民族を理解し、平和な未来を築いていくための力を身に付ける.（定期試験）

| 回 | 授業項目 | 内容 | 理解度の自己点検 |
|---|---|---|---|
| 1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7 | 古代オリエント世界<br>古代地中海世界<br>イスラム世界の形成と発展<br>東西ヨーロッパ世界の成立<br>西ヨーロッパ中世世界の変容<br>ヨーロッパ世界の拡大とルネサンス<br>宗教改革と主権国家体制の形成 | ○原始社会から国家形成の過程について理解できる<br>○ヨーロッパ史の流れを理解できる<br>○キリスト教とイスラム教の関係を理解できる | 【理解の度合い】 |
| 8 | 前期中間試験 | | 【試験の点数】　点 |
| 9<br><br>10<br>11<br>12<br>13<br>14 | 前期中間試験の解答と解説<br>ヨーロッパ主権国家体制の展開<br>産業革命とアメリカ独立革命<br>フランス革命とウィーン体制<br>ヨーロッパの再編とアメリカの発展<br>帝国主義と世界分割<br>第一次世界大戦とその後の動き | ○市民社会の形成が理解できる<br>○世界史の発展とグローバル化の流れが理解できる | 【理解の度合い】 |
| 15 | 前期期末試験 | | 【試験の点数】　点 |
| | 前期期末試験の解答と解説 | | |
| 16<br>17<br>18<br>19<br>20<br>21<br>22 | 中国の古典文明<br>東アジア世界の形成と発展<br>モンゴル民族の発展<br>アジア諸地域の繁栄<br>アジア諸地域の動揺<br>アジア諸国の改革と民族運動<br>中国の近代化の流れ | ○中国史の流れを理解できる<br>○中国の原始社会から国家形成の過程について理解できる<br>○中国と世界の関係が理解できる | 【理解の度合い】 |
| 23 | 後期中間試験 | | 【試験の点数】　点 |
| 24<br><br>25<br>26<br>27<br>28<br>29 | 後期中間の解答と解説<br>世界恐慌と第二次世界大戦<br>冷戦とアジアの復興<br>米・ソ両大国の動揺と国際危機<br>冷戦の解消と世界の多極化<br>社会主義圏の解体とアジアの転換<br>第三世界の多元化と地域紛争 | ○現代史の流れを理解できる<br>○資本主義と社会主義の関係を理解できる<br>○多様化する世界の流れが理解できる<br>○現代社会の問題を理解できる | 【理解の度合い】 |
| 30 | 後期期末試験 | | 【試験の点数】　点 |
| | 後期期末試験の解答と解説 | | |

| | | |
|---|---|---|
| **履修上の注意** | しっかり復習すること. | 【総合達成度】 |
| **教科書** | 佐藤次高ほか著,『詳説世界史』, 山川出版社. | |
| **参考図書** | | |
| **関連科目** | 日本史（１年） | |
| **総合評価** | 定期試験により評価する．評価が 60 点以上を合格とする. | 【総合評価】　点 |